

神奈川県動物愛護管理推進計画（平成26年度～平成35年度） 令和2年度実施結果

※ 年度中に予定していた普及啓発等に係るイベントや講習会、会議等については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止もしくは規模を縮小して実施しています。

施策1 動物愛護管理に関する普及啓発

① 動物愛護普及行事の実施

- 動物愛護週間等の行事として、市民、動物関係団体、獣医師会等と協力し、「動物フェスティバル」「動物愛護フェア」「動物愛護のつどい」等の動物愛護週間事業を開催し、県民の動物愛護精神の高揚を図るとともに、区民まつり等のイベント時に獣医師会、関係団体等と協力し、普及啓発活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止もしくは規模を縮小して実施した。

事業名	参加人数 (概算)	実施自治体
動物フェスティバル神奈川2020（中止）	—	県
動物愛護のつどい（中止）	—	県
動物愛護フェスタよこはま2020（中止）	—	横浜市
動物愛護フェアかわさき2020（中止）	—	川崎市
幸区動物愛護パネル展（幸区役所）	120	川崎市
高津区動物愛護パネル展（高津区役所）	120	川崎市
多摩区動物愛護パネル展（多摩区役所）	150	川崎市
麻生区動物愛護パネル展（麻生区役所）（中止）	—	川崎市
「健活！さがみはら健康フェスタ2020」内動物愛護ブース（中止）	—	相模原市
さがみはら動物愛護キャンペーン2020（ウェブ上で一部開催）	—	相模原市
動物フェスティバルよこすか2020（中止）	—	横須賀市
動物愛護センター開放DAY（中止）	—	横須賀市
第47回動物愛護のつどい（中止、ホームページ上で一部開催）	—	藤沢市

② 適正飼養講習会等の開催

- 動物の飼養者や譲渡対象者等を対象に、適正飼養、しつけ方等についての各種教室、講習会の開催や、獣医師会に委託し相談を実施した。また、小学校、保育園等を対象とした動物ふれあい教室、夏休み飼育体験教室等を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止もしくは規模を縮小して実施した。

	事業名	実施回数	参加人数	実施自治体
講習会	譲渡前講習会（個別面談にて実施）*	172	596	県
	譲渡後講習会	141	277	県
	犬のしつけ教室（中止）	—	—	県
	動物教室（中止）	—	—	県
	譲渡前講習（個別面談にて実施）	100	191	横浜市
	犬・猫の適正飼育セミナー（中止）	—	—	横浜市
	愛犬お手入れ教室（中止）	—	—	横浜市
	譲渡前・譲渡時講習会（個別面談にて実施）	127	282	川崎市
	適正飼養講習会（ペットと災害）（高津区役所）	1	20	川崎市
	地域猫活動セミナー&川崎市サポーター制度説明会（中止）	—	—	川崎市
	市民公開講座（中止）	—	—	川崎市
	犬のしつけ方教室（中止）	—	—	相模原市
	犬の飼い方教室（中止）	—	—	横須賀市
	猫との上手なかかわり方講座（中止）	—	—	横須賀市
	愛犬のしつけ教室（中止）	—	—	茅ヶ崎市
	イヌとネコと飼い主さんの防災セミナー（中止）	—	—	茅ヶ崎市
	市民まなび講座	—	—	茅ヶ崎市
相談	犬のしつけ相談	23	23	県
	猫の相談会	8	54	相模原市
	飼い方等の相談（中止）	—	—	相模原市
体験	ふれあい教室（中止）	—	—	県
	夏休み飼育体験教室（中止）	—	—	県
	獣医師体験教室（中止）	—	—	県
	シャンプー・トリミング体験教室（中止）	—	—	県
	職業体験（中学生対象）（中止）	—	—	横浜市
	子どもアドベンチャー2020 動物愛護センターで犬猫について学ぼう（中止）	—	—	横浜市
	夏休み自由研究企画（中止）	—	—	横浜市
	いのち・MIRAI教室	59	1,815	川崎市
	サマースクール～センターのお仕事やってみよう～（小学4～6年生対象）	4	19	川崎市
	サマースクール～いのちを学ぼう&バックヤードツアー（小学2～3年生対象）	3	17	川崎市

中学生等職場体験（中止）	—	—	横須賀市
夏休み動物愛護センターお仕事体験教室（中止）	—	—	横須賀市
散歩マナーパトロール（中止）	—	—	茅ヶ崎市

*年度途中からオンラインによる譲渡前講習会を開始しており、所内及びオンラインでの受講者人数の総人数。（オンライン28回321閲覧）

③ 教育現場等での普及啓発の推進

- 平成27年9月にスタートした「ひと どうぶつ MIRAIプロジェクト」のいのちを「まなぶ」取り組みとして、学識有識者、ボランティア等で構成される「いのちの教育に係る意見交換会」を書面にて実施した。（川崎市）
- 動物の適正飼養、動物愛護精神の普及啓発を目的とした、地域レベルでの自主的な取り組みとして、保護譲渡推進活動、避妊又は去勢手術推進活動、動物愛護普及啓発イベント、動物愛護センターとの協働等を展開した。（川崎市：かわさき犬・猫愛護ボランティアの取り組み）
実績：動物愛護普及啓発イベントへの参加、動物愛護普及啓発活動等のセミナー開催
- 小学校へ出張し、ボランティア団体と協働で動物愛護精神の普及啓発を目的とした講習会と音楽劇を実施する予定であったが中止とした。（横須賀市）
- 市内小学生を対象とした「人と動物の絵コンクール」を実施した。（藤沢市）
実績：1回 小学校が参加
人と動物の絵コンクール 応募作品数 1,266点

④ 広報媒体による普及啓発

- 動物愛護週間、適正飼養の推進、動物愛護管理法の周知などに関するポスター、パンフレット等を配布しホームページ・広報紙等において、動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発を実施した。
実績：避妊又は去勢手術の重要性を記載したリーフレットを配布した。（県）
広報さがみはらにペットの適正飼養及びペットの災害対策についての特集ページを掲載し、啓発を行った。（相模原市）
広報よこすか 8件掲載（横須賀市）
- 広報よこはま、ホームページ、タウンニュース、公式SNSなどを利用して、動物愛護や適正飼育、ペット災害対策などについて普及啓発を実施した。（横浜市）
- 市政だより、かわさきFM、地下街広報コーナー、川崎市の公式SNS等を利用して、動物の適正飼養や災害対策に関する、普及啓発を実施した。また、動物愛護普及啓発イベント等において、動物愛護、災害対策、終生飼養等に関するクリアファイルやリーフレット、エコバックを配布した。（川崎市）
- 福祉現場におけるペットの問題の相談内容・相談先を記載したチラシを、福祉関連部署を通じて配布し、ホームページに掲載した。（横須賀市）
- 茅ヶ崎市広報掲示板、広報紙等を利用して、動物愛護や適正飼育に関しての普及啓発を実施した。（茅ヶ崎市）

施策2 動物の収容数減少への取り組み

① 飼い主への普及啓発等

- 動物の引取りを申し出る者に対して、原則として事前相談を受けるものとし、終生飼養や自ら譲渡先を探す等、飼い主への適正飼養指導を行った。

- 動物取扱業者と連携して、購入者や利用者が動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）
- 令和元年度の犬猫の殺処分ゼロを受け、引き続き殺処分ゼロを目指し、収容数減少や、返還・譲渡の推進に向けて取組みを行った。（県）
- 公共の場所で疾病にかかり、又は負傷した犬、猫等の動物の処置を獣医師会等に委託し、また、センター等において保護収容等を実施した。

② 新たに飼い主となる人への啓発

- 新たに飼い主となる人に対して、マイクロチップの装着に係るリーフレットを譲渡前講習会等で配布した。（県）
- 横浜市動物愛護センターにおいて、譲渡登録団体による譲渡会を開催し、啓発を行う予定であったが中止とした。（横浜市）
- 川崎市動物愛護センターで譲渡希望者を対象に、譲渡前・譲渡時講習会を行い、動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（川崎市）
 実績：譲渡前講習会 3回 参加人数 8名
 譲渡時講習会 124回 参加人数 274名
- 猫の譲渡面接会で、譲渡希望者に対し譲渡前面接を行い、動物を適正に飼養するための知識の普及啓発を実施した。（相模原市）

③ 繁殖制限措置の実施の推進

- 飼い主のいない猫を増やさないため、猫の避妊又は去勢手術費用の一部補助を行った。（横浜市） 実績：4,075頭
- 飼い猫又は責任をもって世話をしている所有者の判明しない猫を対象とした避妊又は去勢手術費用の一部補助を実施し、無計画な繁殖の防止を推進した。

猫		実施自治体
雄	雌	
860頭	1,144頭	川崎市
889頭	835頭	横須賀市
64頭	78頭	藤沢市

- 「人と猫との共生社会支援事業」において、野良猫等の避妊又は去勢手術費用の一部助成、捕獲器の貸出し及び地域猫の避妊又は去勢手術（協定動物病院で実施）を実施した。（相模原市）

避妊去勢手術				捕獲器 貸出し
野良猫		地域猫		
雄	雌	雄	雌	
432頭	576頭	34頭	34頭	129件

- 動物愛護センターから譲渡する犬・猫に対し、原則として避妊又は去勢手術を行った。（県、横浜市、川崎市、横須賀市）
 実績：犬66頭、猫 102頭（県）
 犬 22頭、猫 59頭（横浜市）

犬 1頭、猫227頭（川崎市）

犬 6頭、猫 33頭（横須賀市）

- 「飼い主のいない猫の不妊去勢手術及び猫の適正管理普及啓発事業」において、ボランティア団体との協働事業により飼い主のいない猫の避妊又は去勢手術を実施した。（茅ヶ崎市）

実績：118頭

- 麻布大学との連携により、市保健所から譲渡する犬及び猫に対し、避妊手術を行った。（相模原市）

実績：4頭

施策3 動物の返還・譲渡の推進

① 動物の返還の推進

- 犬の登録及び鑑札の装着など、所有明示措置を実施するよう飼い主責任の徹底について指導を実施し、動物の返還を推進した。
- 動物愛護センターに收容された動物に加え、一般家庭等で保護されている動物についてもホームページに情報を公開することで、返還を推進した。（県）
- 動物愛護センター、保健所等で、保護收容された動物についてホームページで情報を公開し、返還を推進した。

② 動物の譲渡の推進

- 動物愛護センターに收容された譲渡対象動物をインターネット上で閲覧できるようホームページで公開し、民間団体、ボランティア、獣医師会と連携して譲渡を推進した。（県）
- 譲渡対象動物の検索機能等を搭載したホームページを制作し、譲渡を推進した。
- 保護犬猫の迎え方に係る動画等を制作、ホームページに掲載し、譲渡を推進した。
- 犬・猫のオンライン譲渡会を開催し、譲渡推進を図った（11月、3月の2回開催）。（県）
- ペットのいのち基金を活用して、神奈川県獣医師会等と連携し、ケガや病気の動物に適切な治療を施すことで譲渡を推進した。（県）

県獣医師会からの獣医師派遣回数：26回 治療を受けた犬猫の実頭数：98頭

外部動物病院にて治療した犬猫の実頭数：48頭

- ペットのいのち基金を活用して、犬や猫にしつけや馴化の業務を委託することで譲渡を推進した。（県）

しつけ業務の委託回数：13回 しつけを受けた犬の実頭数：56頭

- 動物愛護センターで、登録ボランティアによる動物のトリミング等を行い、譲渡を推進した。（県）

実績：184頭

- 譲渡希望者に対して面接等によるマッチングをしたうえで譲渡する「一般譲渡」により譲渡推進を図った。（県）

実績：犬 62頭 猫 91頭

- 犬猫の譲渡を受ける登録ボランティアに対し、新たな飼い主探しに要する費用の一部の補助を実施した。（県）
- 犬猫等の譲渡前講習を個別に実施し、譲渡を推進した。（横浜市）

実績：参加人数 191名

- 動物愛護センターの譲渡対象動物をインターネット上で閲覧できるようホームページにて公開し、譲渡を推進した。（横浜市）
- 譲渡登録団体・獣医師会と連携した譲渡を推進した。（横浜市、相模原市）
- 「動物愛護基金」への寄附を募集した。寄附募集パンフレットを各種イベントで配布し、引き続き多くの方から金銭及び動物の収容状況に応じた物品の寄附をいただいた。（川崎市）
- 動物の譲渡を希望する人と飼養を希望する人とを、動物愛護センターのホームページ上で仲介する「動物の譲渡にかかるコーディネート推進事業」により、動物にできる限り生存の機会を与えるための門戸を広く設けた。（川崎市）
- 動物愛護センターで飼養している動物の譲渡希望者に対し、譲渡の推進を図った。（川崎市）
譲渡数：犬 21頭 猫 335頭
- 動物愛護センターで譲渡を行った動物の飼い主に対して、譲渡後訪問を行い、動物の健康状態や飼養状況等を確認するとともに、適正飼養管理等の相談に応じた。（川崎市）
- 市ホームページやFacebookに加え、令和3年1月にTwitterを開設し、譲渡動物情報等を発信した。（川崎市）
- 「人と猫との共生社会支援事業」において、猫の譲渡面接会を実施した。猫の譲渡を希望する人と飼養を希望する人とを会において引き合わせ、猫の譲渡に努めた。（相模原市）
実績：7回（譲受希望者数 186名、参加頭数 131頭、譲渡成立数 46頭）
- 猫のボランティア団体が開催する猫の譲渡会の会場として、犬の一時抑留施設を貸し出した。（相模原市）
- 市の譲渡対象団体として登録を受けたボランティア団体の紹介をホームページに掲載し、ボランティア活動を支援した。（相模原市）
- イベント等において、動物愛護センターに収容されている譲渡対象動物の情報を開示し、動物愛護センターに収容された動物をより多く譲渡できるよう推進する予定であったが中止とした。（横須賀市）
- 動物愛護センターに保護収容された動物の譲渡の推進を図るため、情報を市ホームページに掲載した。（横須賀市）
- 神奈川県獣医師会及び市内開業獣医師と収容負傷動物診断委託を結び、収容した負傷動物の内、動物愛護センターで診断が困難なケースについて、診断及びその後の治療方針等の助言を受けることにより、適切な治療を施すことで譲渡を推進した。（横須賀市）
- 市のTwitterを利用し、収容動物譲渡の促進を図った。（横須賀市）
- 市と協働事業を実施しているボランティア団体の譲渡会の日程等をホームページや広報等に掲載し、ボランティア活動を支援した。（茅ヶ崎市）

施策4 所有明示の推進

① 犬の登録等の推進

- 市町村との連携や動物取扱業者を通じた啓発等を充実することにより、狂犬病予防法に基づく登録及び鑑札等の装着を推進した。（県）
- ペット通信を作成し、狂犬病予防法に基づく登録及び鑑札等の装着について周知した。（茅ヶ崎市）

② 所有明示の推進

- マイクロチップの普及の推進や、ホームページへの掲載等により、普及推進を図った。(県)
実績：動物愛護センターから譲渡する犬猫については、原則マイクロチップを装着した。
 - ・マイクロチップ装着数 犬 80頭、猫 217頭
 - マイクロチップリーダーの設置施設をホームページで公表した。
- マイクロチップ装着を推進するため、飼い犬に対し、装着費用の一部補助を行った。(県)
実績：協力動物病院 195施設
- マイクロチップ装着を推進するため、飼い犬、飼い猫に対し、装着費用の一部補助を行った。(横浜市)
実績：犬 159頭、猫 318頭
- 横浜市動物愛護センターから譲渡する犬・猫に対し、原則としてマイクロチップを装着した。(横浜市)
実績：犬 39頭、猫 90頭
- 「電子標識機器(マイクロチップ)による所有者明示措置推進要綱」に基づき、動物愛護センターからの譲渡動物のうち、希望者に対しては、マイクロチップを装着した。(川崎市)
実績：犬 1頭、猫 195頭
- オリジナルの猫用迷子札を作成し、窓口等で市民へ無料配布した。(川崎市)
実績：迷子札配布数 268枚
- 犬の登録窓口においてリーフレットを配布し、ホームページの掲載を行い、マイクロチップ装着について普及啓発を行った。(相模原市)
- さがみはら動物愛護キャンペーン2020をウェブ上で開催し、所有明示に関するアンケート及び普及啓発を行った。(相模原市)
- 犬の登録窓口において、リーフレットを配布しマイクロチップ装着について普及啓発を行った。(横須賀市)
- 犬の登録窓口において、リーフレットを配布しマイクロチップ装着について普及啓発を行った。(藤沢市)
- 普及啓発チラシ等の配布及びホームページへの掲載を行った。(茅ヶ崎市)

施策5 動物による危害や迷惑の防止

① 飼い主のいない猫への対策

- 変動超音波式ネコ被害軽減器を貸し出した。
実績：貸出し件数 90件(県)
未集計(横浜市) *実績あり
177件(川崎市)
50件(相模原市)
17件(横須賀市)
22件(藤沢市)
29件(茅ヶ崎市)
- 飼い主がいない猫を適正に管理できると認められる者が管理する猫について、動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行った。(県)
実績：61頭

- 平成30年4月1日から地域猫活動の普及を目的とした「地域猫活動支援事業」を開始し、事業に登録した地域の猫について動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行うなど、地域猫活動の支援を実施した。（横浜市）

実績：26組織を手術等支援対象活動組織として登録

動物愛護センターで105頭（雄45頭、雌60頭）の避妊又は去勢手術を実施した。

地域猫活動に関する相談件数 946件

- 平成25年6月に作成した「横浜市猫の適正飼育ガイドライン」の冊子の周知を引き続き図り、簡易版リーフレット「人と猫が共生する快適な居住環境の維持向上を目指して」や「飼い主のいない猫を増やさないために」、「一緒に考えよう！地域にいる猫のこと」などを用いて、区福祉保健センター及び動物愛護センター窓口での配布、ホームページへの掲載を行った。（横浜市）
- 「川崎市猫の適正飼養ガイドライン」や平成30年8月から開始した「地域猫活動サポーター登録制度」を周知し、地域猫活動の考え方を普及推進した。地域猫活動サポーター登録制度に登録したサポーターが管理する猫について、避妊又は去勢手術費用を補助した。また、動物愛護センターで、避妊又は去勢手術を行った。（川崎市）

実績：登録数 39団体 手術補助 131頭（雄 64頭、雌 67頭）

動物愛護センターでの手術 47頭（雄 21頭、雌 26頭）

- 「相模原市猫の適正飼養ガイドライン」をパンフレットの配布等による周知を図り、猫の適正飼養の啓発を行った。（相模原市）
- 「人と猫との共生社会支援事業」において、猫の相談会、地域猫活動支援事業を行った。（相模原市）

実績：猫の相談会 8回

相談件数 46件 参加人数 54名

地域猫登録地域 25地区（令和2年度登録 3地区）

- 地域猫活動支援事業において、地域猫活動団体の登録と、登録した団体の管理する猫について動物愛護センターで避妊又は去勢手術を行った。（横須賀市）
- 地域猫活動等啓発推進協議会において、地域猫活動の手伝いやノウハウの伝授等を行うボランティア（サポートメンバー18名）を認定し、地域猫活動の啓発推進を行う予定であったが中止とした。（横須賀市）
- 地域住民や新たに地域猫活動を行おうとする方に対し「横須賀市猫の飼育ガイドライン」を用いて啓発・助言を行った。（横須賀市）
- 地域猫活動支援事業における地域猫活動団体の情報交換会を開催し、地域猫活動における課題や対処法について共有する予定であったが中止とした。（横須賀市）
- 「のら猫による近隣トラブルを防ぐために」「猫を正しく飼いましょう」「地域猫活動の進め方」のリーフレットを作成し、保健所窓口での配布、ホームページへの掲載を行った。（藤沢市）
- 飼い主のいない猫対策として、地域猫活動を実施している自治会等に避妊又は去勢手術等の費用の補助を行った。（茅ヶ崎市）

実績：登録地域 3地区

② 飼い主への普及啓発

- 適正飼養講習会の実施、ホームページ等への掲載、犬の糞尿に対する啓発看板の配布などにより、

動物の飼い主に対し、適正な飼養管理等について指導、普及啓発を行った。

実績：猟犬の返還時、猟犬の管理に関するリーフレットを配布した。（県）

犬のフンとおしこの始末啓発プレート配布 2,824枚（横浜市）

犬の糞尿被害防止プレート配布 642枚（川崎市）

犬のフン持ち帰り啓発看板配布 507枚（相模原市）

犬の飼い方啓発看板配布 1,002枚（横須賀市）

猫の飼い方啓発看板配布 143枚（横須賀市）

犬のふん尿防止啓発看板配布 568枚（藤沢市）

犬の飼い主に対し適正飼養のチラシ配布 約15,000枚（藤沢市）

犬のフン尿防止啓発看板配布 524枚（大 64枚、小 460枚）（茅ヶ崎市）

犬のフン害防止イエローチョーク配布 132本（茅ヶ崎市）

- 10頭以上の犬や猫を飼う場合に、条例に基づく届出が義務化されたことの周知を図るとともに、届出により飼育状況を早期に把握して適正飼育について助言や指導を行った。（県、横須賀市、藤沢市、茅ヶ崎市）
- リーフレット「飼い猫は屋内で」を配布し、室内飼養について普及啓発を行った。（川崎市）
- 平成22年度に作成した「神奈川県猫の適正飼養ガイドライン」を飼い主の指導等に活用した。（県、藤沢市、茅ヶ崎市）
- ペット通信を作成し、多頭飼育崩壊の防止について周知した。（茅ヶ崎市）

③ 犬による危害等防止

- 犬については、狂犬病予防及び動物愛護管理の両面から、捕獲、抑留又は野犬等の収容により、こう傷事故等の未然防止を図るとともに、事故発生時には迅速に対応し、飼養者に対して適正な飼育方法を指導することにより事故の再発を防止した。

④ 特定動物による危害等防止

- 特定動物の飼養等許可及び飼養施設の監視指導を行い、逸走防止のための措置や特定動物の飼養又は保管に対する法令遵守を徹底させ、特定動物による危害の発生防止を図った。

施策6 遺棄・虐待防止の取組み

① 普及啓発

- 動物を安易に飼い始めないこと、飼養開始前に動物の習性等を理解しておくことについて、ホームページ、リーフレット等の啓発資料などにより普及を図った。
- 動物の遺棄を防止するため、飼えなくなった犬猫等の動物を引き取った。
- 適正飼養キャンペーンや動物愛護フェア等において普及啓発する予定であったが中止とした。（川崎市）

② 遺棄・虐待発生時の対応

- 警察、市町村、自治会、動物愛護団体等との連携を密にし、適正飼養の普及啓発、連絡体制の構築により、遺棄・虐待発生時の対応を図った。

施策7 動物取扱業の適正化

① 動物取扱業者への監視指導等

- 動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱業者の登録申請、施設立入検査、苦情対応等の機会を通じて、法令遵守、動物の適正な飼養管理、業務に必要な知識及び技術等に対する啓発指導を実施した。動物取扱責任者研修は中止とした。（県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市）

② 動物取扱業者の知識・技術の向上

- 動物取扱業の関係団体等への支援や事業者による自主管理を推進するため、監視指導による実態把握を実施した。（相模原市、横須賀市は中止）。（県、横浜市、川崎市）

施策8 実験動物及び産業動物の適正な取扱いの推進

① 実験動物の適正な取扱いの推進

- 引き続き、実験動物の適正な取扱いについて対応した。（県）

② 産業動物の適正な取扱いの推進

- 引き続き、産業動物の適正な取扱いについて対応した。（県）

施策9 人と動物の共通感染症への取組み

① 普及啓発

- 動物の飼い主や動物取扱業者に対し、講習会、ホームページ等において、人と動物の共通感染症に関する正しい知識や対策についての普及啓発を実施した。

② 調査、情報収集等の実施

- 人と動物の共通感染症の抗体保有状況等の調査の実施、結果の公表を行い、飼養及び健康管理が適正に行われるよう指導した。（県）
実績：調査実施検体数 344件
- 譲渡に供する犬や猫、動物愛護センターの動物や収容動物、死亡野鳥等の通報等に対し、それぞれに応じた病原体検査を実施し、感染の実態把握及び未然防止を図った。（川崎市）

③ 発生に備えた対応等

- 川崎市高病原性鳥インフルエンザ対応指針に基づき、高病原性鳥インフルエンザ対応訓練を行う予定であったが中止とした。（川崎市）
- 「藤沢市健康危機管理基本指針」「藤沢市死亡した愛がん鳥の鳥インフルエンザ対応マニュアル」等に基づき対応した。（藤沢市）

施策10 災害時対策

① 災害時における体制の整備

- 災害時動物救護活動用のケージ等を購入した。（県）
- 災害時に被災した動物の救援活動の円滑な実施に向けた対策を協議するため、横浜市災害時動物救援連絡会を開催した。（横浜市）
- ペット同行避難者の受入準備をさらに進めていくための啓発動画を作成した。（横浜市）

- ペット同行避難普及のためのガイドラインとして発行している冊子「災害時のペット対策」の配布や内容の周知により、平常時の備えについて普及を図った。（横浜市）
- 川崎市域で災害が発生した時の動物救援活動について、川崎市と「災害時の動物救援活動に関する協定書」を締結している公益社団法人川崎市獣医師会と、具体的な協力体制の確認のための連絡会議を開催し、防災訓練を実施した。（川崎市）
- 相模原市獣医師会災害対策準備委員会と災害時の動物救護活動の協力体制について意見交換を行った。（相模原市）
- 風水害時避難場所にペットを連れて避難する際の持ち物及びルール等について、ホームページやSNSへの掲載等により啓発を行うとともに、避難所防災倉庫へのケージ等の分散配備を行った。（相模原市）
- イオンペット株式会社と「災害時におけるペットの飼養管理に係る物資の提供等の支援に関する協定」を締結した。【新規】（相模原市）
- 横須賀市で災害が発生した時の動物救護活動について、横須賀三浦獣医師会と締結している「災害時における動物救護活動に関する協定書」に基づき具体的な救護活動内容についてのマニュアルを検討した。（横須賀市）
- 「避難施設運営マニュアル（ペット対策編）」及び「動物救護マニュアル（ペット飼い主編）」を配布し周知を図った。（藤沢市）
- 災害時の動物救護活動に関する協定書に基づき、救護活動の具体的な内容を検討した。（茅ヶ崎市）
- 「避難所でのペットの受け入れについて〈ガイドライン〉〈ハンドブック〉」を配布し周知を図った。（茅ヶ崎市）
- 災害時動物救護用の簡易テントを購入し、避難所の防災倉庫に保管した。（茅ヶ崎市）

② 平常時の準備

- 行事開催時に災害時対策に関する展示や講演等を行い、啓発を行った。
実績：動物フェスティバル神奈川2020、県市合同総合防災訓練（ビッグレスキューかながわ）等において、災害時の持ち出し用品の展示等を行う予定であったが中止とした。（県）
犬のしつけ方教室内で専門家による犬のしつけと災害対策に関する講演、さがみはら動物愛護キャンペーン2020において災害時の持ち出し用品の展示等を行う予定であったが中止とした。（相模原市）
- 地域防災拠点や自治会等の防災訓練・総合防災訓練において、飼い主が日頃からできる災害時のペット対策の周知や、災害時のペット同行避難、ハウストレーニングなどの実習を交えた啓発を実施した。（横浜市）
実績：地域防災拠点等での災害時のペット対策啓発
地域防災拠点等におけるペット一時飼育場所やペット防災グッズを横浜市動物愛護センター内に常設展示
- 災害に備え、ペットフード、ケージ等の備蓄をランニングストック方式で備蓄した。（川崎市）
- 各区防災訓練、講習会等において、ペットの災害対策に関する展示、「パットの飼い主のための防災手帳」、「風水害の時 ペットと避難する際のお願い」、「ペットの災害対策チェックシート（クリアファイル）」等を配布し普及啓発を行った。（川崎市）
- 市総合防災訓練において危機管理局と連携し「ペット区画」の設営訓練に備蓄ケージ等を貸し出

した。(相模原市)

- ペットの災害対策に関するチラシを配布し普及啓発を行った。(横須賀市)
- 犬の飼い主に対し、「防災愛犬カード」を配布し災害に備え犬の情報を常時持ち歩くよう普及啓発を行った。(藤沢市)
実績：配布枚数 約1,500枚
- 愛犬手帳に飼い犬の防災対策について記載し、飼い主の意識向上を図った。(茅ヶ崎市)
- 災害に備え、ペットフードの備蓄を行った。(茅ヶ崎市)

施策11 人材育成

① 協議会等の開催

- 協議会等の開催により、関係者間の協働関係の構築を図った。
実績：動物愛護管理推進協議会の開催(県)
第1回 令和2年8月20日 第2回 書面開催
人と動物との共生推進よこはま協議会の開催(横浜市)
第1回 令和2年8月28日 第2回 開催中止
- 人と動物との共生社会推進懇話会を2月に書面開催し、本市が推進する動物愛護事業に関して意見交換を行った。(相模原市)
- 茅ヶ崎・寒川動物愛護協議会を書面開催し、動物に関する様々な問題について意見交換を行った。(茅ヶ崎市)

② 動物愛護推進員の委嘱及び研修等の実施

- 地域における動物の愛護や適正な飼養に関する指導・助言等を行う動物愛護推進員を委嘱し、委嘱後の活動支援を実施した。
実績：動物愛護推進員の意見交換会及び研修会を実施する予定であったが中止とした。(県)
横浜市動物適正飼育推進員研修会を実施する予定であったが中止とした。(横浜市)
(同内容を2回に分けて実施予定 12月～1月予定)
動物愛護推進員の打合せ会 1回(相模原市)
動物愛護推進員の打合せ会を行い、活動への支援及び協働した動物愛護事業について検討を行う予定であったが中止とした。(藤沢市)
- かわさき犬・猫愛護ボランティアに対する積極的な情報提供・情報交換、動物愛護普及啓発イベント等での協働を通じて、さらなる育成・支援を行った。(川崎市)
実績：子猫飼養管理支援ボランティアは年間を通じて、その他の業務支援ボランティアは新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、支援いただいた。定期会議の他、区役所と連携し、区役所毎に会議を開催する予定であったが中止とした。
- 人と猫との共生社会支援サポーターとサポーター連絡会議を実施し、活動の報告、今後の方針等を話し合った。(相模原市)

③ 関係機関等との連携

- 関係自治体の担当職員による各会議の開催により、情報の共有及び連携を図った。
- 研修の実施や環境省、厚生労働省等が行う研修への参加により、動物愛護管理業務担当者の資質の向上を図った。

- 県内の動物愛護団体等について、その活動内容等の把握を図り、各施策の実施にあたっての連携を図った。（県、川崎市）

施策12 調査研究の推進

① 調査研究の実施等

- 人と動物の共通感染症の病原体感染状況及び感染の恐れのある疾病の実態把握を目的とした検査等を実施し、飼養及び健康管理が適正に行われるよう指導した。→施策9参照

神奈川県動物愛護管理推進計画の推進

- 「神奈川県動物愛護管理推進協議会」において、県としての事業の実施及び推進について協議した。
- 「神奈川県・保健所設置市動物愛護管理推進会議」を開催し、計画に基づく事業の推進及び進捗管理や施策の総合的な企画及び調整を実施した。